

「笑顔」と「健康」をお届けできる会社を目指して Smiles for All. すべては、笑顔のために。



2020年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大によって世界中で多くの方々の生活に大きな変化が起こり、食に対する意識と行動にも、健康意識の高まりや内食需要の拡大など様々な変化がありました。2021年度も、東洋水産グループは安全・安心な食の提供を追求するとともに、消費者やお取引先、そして社会の変化に対応した取り組みをこれまで以上に強化することで、新しい日常における食文化づくり、社会づくり、SDGs達成に貢献してまいります。

2019年度から2021年度の3カ年中期経営計画では、3つの基本戦略に基づいた施策を行っています。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会やライフスタイルの変化への対応に取り組んでいます。

そのような中、2年目の2020年度の業績は、家庭内調理機会の増加などによる需要拡大に対応したことで、売上高、営業利益、経常利益、純利益それぞれが過去最高を上回る結果となりました。

いまだ新型コロナウイルス感染症による影響は不透明で対応が必要ですが、中長期では、社会課題に目を向けた健康価値の高い商品の開発、店頭や家庭内でのフードロス削減への貢献、気温上昇や災害時への備

え、地域社会との連携の深化にも継続して取り組んでまいります。

東洋水産グループは、次期3カ年中期経営計画がスタートする2022年度に創業70周年を迎えます。

これからも変わらず皆さまに信頼される、誠実なグループであり続けること、そしていままで以上に「笑顔」と「健康」をお届けすることを目指し、弛まぬ努力を続けてまいります。

今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 今村 将也

「食」を通じた事業

事業戦略

「食」の事業を通じ「5つの笑顔」の実現を目指します

社会課題
気候変動
食糧問題
など



2019-2021年度 中期経営計画

基本戦略

- 需要を引き出す新たな価値創造
- 海外展開の深化
- 経営基盤の強化

2020年度実績
売上高**4,175**億円
営業利益**365**億円

「5つの笑顔」の実現に向けての重要課題



新3カ年中期経営計画

2022-2024年度

東洋水産グループの持続的な成長

SDGs達成への貢献